

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

所得稅法改正法律案(政府提出)
法人稅法案(政府提出)

特別法人稅法案(政府提出)

配當利子特別稅法案(政府提出)

外貨債特別稅法中改正法律案(政府提出)

相續稅法中改正法律案(政府提出)

建築稅法案(政府提出)

礦區稅法案(政府提出)

臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)

營業稅法案(政府提出)

地租法中改正法律案(政府提出)

酒稅法案(政府提出)

清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

揮發油稅法中改正法律案(政府提出)

物品稅法案(政府提出)

遊興飲食稅法案(政府提出)

取引所稅法中改正法律案(政府提出)

通行稅法案(政府提出)

入場稅法案(政府提出)

印紙稅法中改正法律案(政府提出)

骨牌稅法中改正法律案(政府提出)

狩獵法中改正法律案(政府提出)

明治四十四年法律第四十五號中改正法律案(砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル件)(政府提出)

大正九年法律第五十一號中改正法律案(內地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件)(政府提出)

支那事變特別稅法及臨時租稅增徴法廢止法律案(政府提出)

營業收益稅法廢止法律案(政府提出)

資本利子稅法廢止法律案(政府提出)
法人資本稅法廢止法律案(政府提出)

臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)

地方稅法案(政府提出)

地方分與稅法案(政府提出)

府縣制中改正法律案(政府提出)

市制中改正法律案(政府提出)

町村制中改正法律案(政府提出)

北海道會法中改正法律案(政府提出)

北海道地方費法中改正法律案(政府提出)

地方分與稅分與金特別會計法案(政府提出)

堀切委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス——今日ハ佐竹君カラ願ヒマス

○佐竹委員 ソレデハ順序ガ變ニナリマスケレドモ、唯一問文部大臣ニ對シテ御尋ヲ申上ゲマス、義務教育費ノ國庫負擔ノ關係

デアリマス、今回尋常小學校ノ先生ノ俸給ノ半額ヲ國家ガ負擔致シマシテ、府縣支辨

トスルサウデアリマスガ、其ノ配分ノ方法ハ、現在實際支拂ツテ居リマスル俸給定額

ノ半額ヲ、各府縣ニ按分シテ配分ナサル御考デアリマセウカ

○松浦國務大臣 只今ノ御質問デアリマスガ、今回教員俸給ヲ道府縣支辨ニ移シマス

ニ付キマシテ、差當リハ現在ノ市町村ニ於キマシテ支給シテ居リマスル俸給ニ對スル

經費ヲ、道府縣ノ經費ニ計上致ス譯デアリマス、而シテ尋常小學校教員ノ俸給ノ半額

ニ對シマシテ、國庫カラ之ヲ補助スル、國庫ニ於テ之ヲ負擔スル、斯様ナ譯ニ相成ル

ノデアリマス

○佐竹委員 私ノ御尋ノ趣旨ガ分ラヌヤウデアリマスガ、配分ノ方法ヲ伺ツテ居ルノ

デアリマス、現在實際ニ支拂ツテ居リマス

ル俸給定額ノ半額ヲ、各府縣ニ割當テルム云フ意味デゴザイマセウカ

○松浦國務大臣 詰リサウ相成リマス

○佐竹委員 舊來所謂教育費ノ半額ニ相當致シマス八千五百萬圓ヲ國庫ガ負擔ヲシ

テ參ツテ居リマシテ、半額ノ負擔ト申シマスカラ、實際ノ俸給定額ノ半分ヲ各市町村

ニ配分シテ來タカト申シマス、サウデハナカツタデアリマス、其ノ分ケ方ハ市ニ

薄ク、町村ニ厚ク、市ノ中デモ普通ノ市ハ少ク、特別市ニハ多ク、町村ノ中ニ於キマ

シテモ普通町村ヨリハ特別町村ノ方ニ多ク、所謂財政力ニ逆比例致シマシテ配分サ

レテ居ツタデアリマス、ソコデ財政力ノ強イ、例ヘバ大阪市ノ如キハ、先生ノ俸給

ノ八割ト云フモノヲ、大阪市デ支拂ツテ居リマシテ、國庫カラハ僅ニ二割シカ配分サ

レテ居ナカツタデアリマス、ソレヲ只今御答辯ノヤウニ、俸給ノ定額ノ半分ヲ按分

シテ、各府縣ニ割當テルト云フコトニナリマス、今ノ大阪市内ノ大變ニ助カリマ

ス、之反シマシテ貧弱町村ニ於キマシテハ、殆ド大部分ヲ國庫負擔カラ配分サレテ居リ

マシタノデ、此ノ方面、其ノ中ニハ國家カラ頂戴シテ居リナガラ、俸給ノ不拂マデ致

シテ居リマシタ町村サヘモアリマスルガ、其ノ町村ニ於キマシテハ何等ノ利害ヲ感ジ

ナイノデアリマス、隨ヒマシテソレ等町村ヲ集計致シマシタラ、各府縣ノ配分ニ付キ

マシテハ、舊來ト大分異ツタ金額ニナツテ來ルコトハ當然ノコトデアリマス、即チ貧

弱町村ヲ餘計ニ包容致シテ居リマスル所ノ貧弱府縣ニ於キマシテハ、相當困ル結果ニ

ナリハシナイカト思フノデアリマス、舊來ノ配分ガ貧乏ナ方面ヲ助ケヨウト云フ精神

ニアツタデアリマスガ、今度ハ一切ソレヲ顧慮致シマセズ、定額デ一率ニ配分シテシマフト云フコトニナリマス、折角ノ義務教育費國庫負擔ト云フモノガ情ノナイ

モノニナツテシマヒマシテ、力ノアル方面ヲ喜バセ、弱イ方面ヲ困ラスト云フ結果ニ

ナルノデハナイカト思ヒマスガ、大臣ノ所見ハ如何デゴザイマスカ

○松浦國務大臣 只今ノ御尋デアリマスガ、從來ハ國庫カラ負擔シマスルモノハ、實際

ノ尋常小學校ノ教員俸給ノ半額ニナツテ居ル譯デハナイノデアリマシテ、八千五百萬圓ト云フ定額ヲ、比較的市ニ薄ク、町村ニ

厚ク配當ヲ致シテ居ルノデアリマスケレドモ、今回ハ俸給全部ガ市町村支辨カラ府縣

支辨ニ移リマスノデ、詰リ俸給ニ支出スルダケノモノガ市ニ於テモ町村ニ於テモ、全

ク免除サレルノデアリマスカラ、其ノ點ニ於キマシテ、貧弱町村或ハ市ニ對シテ配當

ノ區別ヲスルト云フコトハナイノデアリマシテ、全體ニ府縣ニ對シテ其ノ尋常小學校

教員俸給ノ半額ヲ交付スル譯ニナルノデアリマス、而シテ貧弱町村ト市トノ關係ニ付

キマシテハ、是ハ其ノ財政援助ノ關係ニ付キマシテハ、今回ノ稅制改正デ其ノ點ハ調

整致スト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマスカラ、貧弱町村ヲ含ンデ居ル所ニ援助

スルコトガ少イト云フ關係ハ起ツテ來ナイト考ヘマス

○佐竹委員 調整ヲナサルト云フノデゴザイマスガ、是ハ配付稅ノ關係デ調整ナサル

意味デゴザイマセウカ

○換間政府委員 財政的ノ關係ヲ私カラ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、從來ノ小學校

教員ノ俸給費國庫負擔ノ問題ハ、要スルニ

是ハ國費ト地方費トノ負擔區分ノ問題ガ其ノ主體デアツタノデアリマス、ソレデ市町村ガ負擔シテ居ル俸給費ノ中、八千五百万圓ヲ市町村ニ對シテ國庫ガ補給シテ居リマシタ、是ハ理論的ニ申シマス、負擔區分ノ問題デゴザイマス、從來ノ稅制ハ御存ジノ通り今回ノ改正ニ依ル稅制ト違ヒマシテ、殆ド財政調整ノ目的カラ見マス、其ノ働キガナカツタノデアリマス、隨テ貧弱町村ニ對スル財政救済ト云フコトヲ、何等カノ形ニ於テシナケレバナラスト云フコトヲ、從來政府モ考ヘテ居ツタノデアリマス、此ノ教員給ノ國庫負擔ノ問題ハ其ノ一ツノ働キトシテ、元來ハ負擔區分ノ問題デゴザイマスガ、之ヲ利用シテ貧弱町村ニ對スル財政調整ヲシテ居ツタノデアリマス、是ハ謂ハバ已ムヲ得ザル一ツノ手段デアツタノデアリマス、今回ノ改正稅制ニ依リマス、分與稅制、就中配付稅ノ制度ヲ設ケマシタノデ、地方財政ノ調整ト云フコトハ、全然此ノ方面デ十分解決ヲ付ケルコトガ出來ルコトニナツタ譯デゴザイマス、隨テ教員給ノ道府縣費移管ト同時ニ、負擔區分ノ問題ハ、負擔區分自體ノ問題トシテ出セバ、ソレデ結構デアルト云フコトニ自然ナツテ參ル譯デアリマス、ソレ故ニ今回ノ道府縣費移管後ニ於ケル小學校教員給ニ對スル國庫負擔ハ、之ヲ定率ト致シマシテ全府縣均一ニ、教育給ノ二分ノ一ヲ國庫ガ補給スルノデアリマス、併シナガラ貧弱ナ縣ト資力ノアル縣トノ間ニ於ケル、財政不均衡ノ問題ヲ如何ニスルカト云フコトハ、是ハ教員給國庫負擔ノ問題トハ別個ノ問題トシマシテ、只今御審議ヲ願ツテ居リマス、配付稅制ニ依リマシテ、十分

其ノ點ハ第一種配付ヲ以テ解決ヲスルコトガ出來ルコト云フコトニナリマシテ、此ノ財政救済ニ關スル進ミ方ガ、モツト理論的ニ徹底的ニナル、斯ウ云フ結果ニナルト思ヒマス、一寸申上ゲテ置キマス

ハ御話ノ通りデアリマス、併シ地方負擔ノ關係、地方歲入ノ關係ト云フモノハ、稅制全體ヲ睨ミ合ツテ見ナケレバナリマセス、サウシマス、今回ノ稅制改正ニ依リマシレバ、獨立財源ト調整財源ト云フモノガ兩建トナリマシテ、適切ナ地方ノ財源ヲ附與スルコト云フコトニナツテ居リマス、其ノ方面ニ於テ、只今御話ノヤウナ點ガ非常ニ輕クナルト云フコトハ、ソレ自身ヲ見マス、トサウデゴザイマスガ、全體ノ組立カラ申シマス、適當ナル財政上ノ安排ニナツテ居ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス

居リマス所ノ調整ノ目的ヲ達スルノデハナアカト、斯様ニ思フノデアリマス、如何デアリマセウカ

○佐竹委員 別個ノ關係ノヤウデアリマス、之ヲ前提トシテ今御尋ヲ申上ゲタノデアリマス、所ガ此ノ義務教育費ノ國庫負擔ノ關係ダケデ、調整ガ出來ルヤウナ文部大臣ノ只今ノ御答辯デアリマシタノデ、私ハ是ハ解シ兼ねルト思フ、只今地方局長ノ御答辯ノ如クト致シマシテ、配付稅ニ依ル所ノ調整關係ト、義務教育費ノ國庫負擔ノ關係トハ全ク別個ノ關係デアル、サウシテ前ハ調整ノ意味ガ含マレテ居ツタケレドモ、今回ハソレヲ配付稅ニ讓ツテ、今回ノ義務教育費國家負擔ノ方面ニハ、調整ノ意味ガナイト云フコトヲハツキリセラレタノデアリマス、洵ニ今度ノ建前ハサウナツテ居ルト私モ思ヒマスガ、ドウデアリマセウ、ヤハリ只今私ガ例示致シマシタ如ク、例ハバ大阪市ノ如キハ八割ヲ負擔シテ居ツタノデアリマス、多分ノモノヲ支出センケレバナリナイ狀態ニアリマシタ其ノ方面デハ、今度ハ府縣費支辨ニナリマシテ、大變ニ助カ

ル結果ニナリハセヌデセウカ、優良市町村方面カラ御尋ヲ申上ゲマシタナラバ直グ分ルノデアリマスガ、大阪市ノ如キハ非常ニ助カ

ハ御話ノ通りデアリマス、併シ地方負擔ノ關係、地方歲入ノ關係ト云フモノハ、稅制全體ヲ睨ミ合ツテ見ナケレバナリマセス、サウシマス、今回ノ稅制改正ニ依リマシレバ、獨立財源ト調整財源ト云フモノガ兩建トナリマシテ、適切ナ地方ノ財源ヲ附與スルコト云フコトニナツテ居リマス、其ノ方面ニ於テ、只今御話ノヤウナ點ガ非常ニ輕クナルト云フコトハ、ソレ自身ヲ見マス、トサウデゴザイマスガ、全體ノ組立カラ申シマス、適當ナル財政上ノ安排ニナツテ居ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス

居リマス所ノ調整ノ目的ヲ達スルノデハナアカト、斯様ニ思フノデアリマス、如何デアリマセウカ

○佐竹委員 別個ノ關係ノヤウデアリマス、之ヲ前提トシテ今御尋ヲ申上ゲタノデアリマス、所ガ此ノ義務教育費ノ國庫負擔ノ關係ダケデ、調整ガ出來ルヤウナ文部大臣ノ只今ノ御答辯デアリマシタノデ、私ハ是ハ解シ兼ねルト思フ、只今地方局長ノ御答辯ノ如クト致シマシテ、配付稅ニ依ル所ノ調整關係ト、義務教育費ノ國庫負擔ノ關係トハ全ク別個ノ關係デアル、サウシテ前ハ調整ノ意味ガ含マレテ居ツタケレドモ、今回ハソレヲ配付稅ニ讓ツテ、今回ノ義務教育費國家負擔ノ方面ニハ、調整ノ意味ガナイト云フコトヲハツキリセラレタノデアリマス、洵ニ今度ノ建前ハサウナツテ居ルト私モ思ヒマスガ、ドウデアリマセウ、ヤハリ只今私ガ例示致シマシタ如ク、例ハバ大阪市ノ如キハ八割ヲ負擔シテ居ツタノデアリマス、多分ノモノヲ支出センケレバナリナイ狀態ニアリマシタ其ノ方面デハ、今度ハ府縣費支辨ニナリマシテ、大變ニ助カ

ル結果ニナリハセヌデセウカ、優良市町村方面カラ御尋ヲ申上ゲマシタナラバ直グ分ルノデアリマスガ、大阪市ノ如キハ非常ニ助カ

ハ御話ノ通りデアリマス、併シ地方負擔ノ關係、地方歲入ノ關係ト云フモノハ、稅制全體ヲ睨ミ合ツテ見ナケレバナリマセス、サウシマス、今回ノ稅制改正ニ依リマシレバ、獨立財源ト調整財源ト云フモノガ兩建トナリマシテ、適切ナ地方ノ財源ヲ附與スルコト云フコトニナツテ居リマス、其ノ方面ニ於テ、只今御話ノヤウナ點ガ非常ニ輕クナルト云フコトハ、ソレ自身ヲ見マス、トサウデゴザイマスガ、全體ノ組立カラ申シマス、適當ナル財政上ノ安排ニナツテ居ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス

居リマス所ノ調整ノ目的ヲ達スルノデハナアカト、斯様ニ思フノデアリマス、如何デアリマセウカ

○佐竹委員 別個ノ關係ノヤウデアリマス、之ヲ前提トシテ今御尋ヲ申上ゲタノデアリマス、所ガ此ノ義務教育費ノ國庫負擔ノ關係ダケデ、調整ガ出來ルヤウナ文部大臣ノ只今ノ御答辯デアリマシタノデ、私ハ是ハ解シ兼ねルト思フ、只今地方局長ノ御答辯ノ如クト致シマシテ、配付稅ニ依ル所ノ調整關係ト、義務教育費ノ國庫負擔ノ關係トハ全ク別個ノ關係デアル、サウシテ前ハ調整ノ意味ガ含マレテ居ツタケレドモ、今回ハソレヲ配付稅ニ讓ツテ、今回ノ義務教育費國家負擔ノ方面ニハ、調整ノ意味ガナイト云フコトヲハツキリセラレタノデアリマス、洵ニ今度ノ建前ハサウナツテ居ルト私モ思ヒマスガ、ドウデアリマセウ、ヤハリ只今私ガ例示致シマシタ如ク、例ハバ大阪市ノ如キハ八割ヲ負擔シテ居ツタノデアリマス、多分ノモノヲ支出センケレバナリナイ狀態ニアリマシタ其ノ方面デハ、今度ハ府縣費支辨ニナリマシテ、大變ニ助カ

ル結果ニナリハセヌデセウカ、優良市町村方面カラ御尋ヲ申上ゲマシタナラバ直グ分ルノデアリマスガ、大阪市ノ如キハ非常ニ助カ

ハ御話ノ通りデアリマス、併シ地方負擔ノ關係、地方歲入ノ關係ト云フモノハ、稅制全體ヲ睨ミ合ツテ見ナケレバナリマセス、サウシマス、今回ノ稅制改正ニ依リマシレバ、獨立財源ト調整財源ト云フモノガ兩建トナリマシテ、適切ナ地方ノ財源ヲ附與スルコト云フコトニナツテ居リマス、其ノ方面ニ於テ、只今御話ノヤウナ點ガ非常ニ輕クナルト云フコトハ、ソレ自身ヲ見マス、トサウデゴザイマスガ、全體ノ組立カラ申シマス、適當ナル財政上ノ安排ニナツテ居ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス

居リマス所ノ調整ノ目的ヲ達スルノデハナアカト、斯様ニ思フノデアリマス、如何デアリマセウカ

○佐竹委員 別個ノ關係ノヤウデアリマス、之ヲ前提トシテ今御尋ヲ申上ゲタノデアリマス、所ガ此ノ義務教育費ノ國庫負擔ノ關係ダケデ、調整ガ出來ルヤウナ文部大臣ノ只今ノ御答辯デアリマシタノデ、私ハ是ハ解シ兼ねルト思フ、只今地方局長ノ御答辯ノ如クト致シマシテ、配付稅ニ依ル所ノ調整關係ト、義務教育費ノ國庫負擔ノ關係トハ全ク別個ノ關係デアル、サウシテ前ハ調整ノ意味ガ含マレテ居ツタケレドモ、今回ハソレヲ配付稅ニ讓ツテ、今回ノ義務教育費國家負擔ノ方面ニハ、調整ノ意味ガナイト云フコトヲハツキリセラレタノデアリマス、洵ニ今度ノ建前ハサウナツテ居ルト私モ思ヒマスガ、ドウデアリマセウ、ヤハリ只今私ガ例示致シマシタ如ク、例ハバ大阪市ノ如キハ八割ヲ負擔シテ居ツタノデアリマス、多分ノモノヲ支出センケレバナリナイ狀態ニアリマシタ其ノ方面デハ、今度ハ府縣費支辨ニナリマシテ、大變ニ助カ

ル結果ニナリハセヌデセウカ、優良市町村方面カラ御尋ヲ申上ゲマシタナラバ直グ分ルノデアリマスガ、大阪市ノ如キハ非常ニ助カ

ハ御話ノ通りデアリマス、併シ地方負擔ノ關係、地方歲入ノ關係ト云フモノハ、稅制全體ヲ睨ミ合ツテ見ナケレバナリマセス、サウシマス、今回ノ稅制改正ニ依リマシレバ、獨立財源ト調整財源ト云フモノガ兩建トナリマシテ、適切ナ地方ノ財源ヲ附與スルコト云フコトニナツテ居リマス、其ノ方面ニ於テ、只今御話ノヤウナ點ガ非常ニ輕クナルト云フコトハ、ソレ自身ヲ見マス、トサウデゴザイマスガ、全體ノ組立カラ申シマス、適當ナル財政上ノ安排ニナツテ居ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス

居リマス所ノ調整ノ目的ヲ達スルノデハナアカト、斯様ニ思フノデアリマス、如何デアリマセウカ

サウ云フ税制ガ立テラレテ、參リマス、此ノ教員給ノ問題ヲ捕ヘテ考ヘマス、ソレダケハ單ナル負擔區分ノ問題トシテ、國庫ガ幾割ノ負擔ヲスルコトガ適當デアルト云フ問題ヲ解決スレバ、ソレデ足リルヤウニナルト思フデアリマシテ、之ニ依ツテ財政ノ調整ヲスル必要モ、私ト致シマシテハモウナクナツテ居リマシテ、今回ノ税制ガ全クサウ云フ問題ヲ解決スル爲ニ、全然新規ノ立場ニ於テ機構ガ作ラレタモノデアルト、斯ウ云フ風ニ御諒解ヲ戴キタイト思フデアリマス

○佐竹委員 私ノ心配致シマス所ノモノハ、義務教育費國庫負擔ノ問題ガ、負擔區分ノ問題デアルコトニ付テハ、是ハ私モ敢テ別ニ意見ヲ持ツ者デアリマセヌ、ガ併シ現モアレ負擔區分ノ問題デアアルケレドモ、過去ニ於テ財政調整ノ役割ヲ務メテ居リマシタ……

○堀切委員長 文部大臣ハ一寸十分バカリ他ノ委員會ニ行カレテ又來ラレルサウデアリマスカラ……

○佐竹委員 ソレデハ財政調整ニ關係致シマスコトニ付テハ、地方局長ニ後カラ御尋致シマス、私ハ大臣ニ本委員會ニ於テモ問題ニナリマシタ文部省關係ノ、教育方面ニ於ケル勅令デ取扱ツテ居リマスモノヲ、法制化スル、立法化スルコトガ適當デハナイカト云フ點ヲ御尋致シタイト考ヘテ居リマス、是ハドウモ大變問題デアルヤウデアリマスガ、文部省ガ獨リ御反對ナサリマス爲ニ、理論トシテハ正シイケレドモ、ドウモヤルコトガ出來ナイト云フ状態ニアルカノ如クニ見エルデアリマス、此ノ間總理大臣ガ此處ヘ出テ參リマシテ追究サレテ、

殆ド何ト申シマスカ、何等ノ答辯モナサラナイ、見テ居リマシテ、目バカリパチ／＼サセテ御氣ノ毒ニナツテシマツタノデアリマスガ、文部省ハナゼ總理大臣ヲソナニマデシテ苦シメル程、其ノ理論ト云フモノヲ堅持サレナケレバナラヌノデアリマスルカ、此ノ點ヲ承リタイト思ヒマス

ソレカラモウ一ツ此ノ際序ニ申上ゲテ置キマス、一昨日大臣ノ秘書官ト稱スル人ガ私ノ家ニ電話ヲ掛ケテ參リマシテ、アナタハ一體何ヲ聴クノダト、斯ウ云フ話デアリマス、ソレデソレハ明日委員會ヘ參ルカラ、親シクオ目ニ掛ツテ要項ダケハ申上ゲマセウ、斯ウ云フコトヲ御答致シマシタ、スルト、イヤ電話デ結構デス、電話デ答ヘラレマセヌカト云フ話デアアル、折角秘書官ト云フ人ノ御話デアリマスシ、御苦心ヲナサツテ居ルダラウト思ツテ、今問答始メテ居リマス義務教育費ノ國庫負擔ニ關スル問題ノ少々バカリ御話申上ゲマシタ、スルト、ソレハ君府縣ヘ移管サレルノダカラ問題ハナイデヤナイカト、斯ウ言下ニ言フ、恰モ君其ノ質問ハ引込メタラドウカト云フヤウナ話デアリマシタノデ、馬鹿臭クテ仕樣ガナクテ、イヤサウ云フコトナラ引込メテモ宜シウゴザイマスと言ツテ、私ハ電話ヲ切ツタノデアリマス、コンナ問答ニ關シテ聞取引フスルナント云フコトハ、私ハ好マシクアリマセヌ、アナタノ秘書官ガ一體アナタノ意思ヲ受ケテナサツタノデアリマセウカ、忠義立フシテソナコトヲナサル秘書官ガアルト云フ意味デゴザイマセウカ、私共ガ將來審議ヲ進メテ行キマスニ付テモ考ヘナクテハナラヌコトガ出テ來ルト思ヒマスノデ、此ノ際其ノ點モ併セテ御伺申上ゲテ置

キタイト思ヒマス

○松浦國務大臣 教育ニ關スル事項ヲ法律デ規定スルコトニシタラドウカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ明治二十三年ニ初メテ小學校令ガ出來マシテ以來、教育ニ關スル事項ハ、是ハ勅令ヲ以テ規定スルト云フ長イ傳統ト申シマスカ、慣例デアリマシテ、之ニ依ツテ教育事項ハ總テ勅令ヲ以テ規定スルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、今回ノ國民學校ノ制度ニ付キマシテモ、總テ其ノ意味デ參ツテ居ルノデアリマス、唯將來ノコトニ付キマシテハ、先達テ總理大臣カラ答辯セラレマシタ如ク十分考究ヲ致ス、斯ウ云フコトデアリマシタノデ、此ノ點ハ總理ノ御答ト何等變ツタコトハゴザイマセヌ、ソレカラ尙ホ秘書官ガドウカシタト云フヤウナ御話デアリマシタガ、是ハ私ハ何モ承知シマセヌコトデアリマスカラ、ドウゾ左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○堀切委員長 佐竹君、宜シウゴザイマスカ

○佐竹委員 ソレデハ大臣ハ御急ギデアリマスカラ、此ノ問題ハ更ニ質問ヲ發展サセタイト考ヘマスケレドモ、宜シウゴザイマス、ドウゾ適當ノ機會ニ御願申上ゲマス

ソレデハ地方局長ニ對スル質問ヲ繼續致シマスガ、私ノ心配致シマスモノハ、義務教育費國庫負擔ノ問題ガ、理論上ハ負擔區分ノ問題デアルコトニ付テハ是ハ爭ヒマセヌ、唯過去ニ於テ財政調整ノ役割ヲ務メテ居ツタコトハ、是ハ事實デアリマス、ソコデ今回配付稅ヲ布クコトニナリマシテ、財政調整ヲシヨウト致シマスコトニ對シ、此ノ義務教育費國庫負擔ノ方面ニ於テ、財政調整ノ役割ヲ務メルコトガナクナツタ結果

ガ、配付稅ニ依ル所ノ財政調整ニ罅ノ入ルヤウナ結果ニナリハシナイカ、斯ウ云フコトヲ私ハ心配スル譯デアリマス、私ハ有名ナ貧弱縣デアリマス高知縣デアリマス、前ノ配分方法カラ申上ゲマスナラバ、各町村トモ非常ニ貧弱町村ガ多イデアリマシテ、實際半額デハナイ、半額ノ分配トハ申シマスケレドモ、先程申上ゲマスルガ如ク貧弱町村ニハ餘計ニ與レマスノデ、各町村トモ最近餘計ノ配分ヲ受ケテ居ル、ソコデ高知縣全體トシテノ總額ハ、私ハ數字ハ分リマセヌケレドモ、恐ラク半額以上ノ、例ヘバ定額ニ對スル六割、七割ト云ツタヤウナモノガ配分サレテ居ルデハナイカトモ思フ、其ノ時ニ今回ハ五割ナラ五割、半分ナラ半分シカ配分ヲシナイト云フコトニ相成リマスナラバ、折角配付稅ヲ頂戴致シマシテ、一應財政調整ガ出來マシテモ、義務教育費ノ國庫負擔ノ問題ノ爲ニ、例ヘバ七割貫ツテ居ツタモノガ五割ニナツテ、其ノ方面デ二割ヲ失フ、折角配付稅ニ依ル所ノ調整ガ稍、完備サレタト云フ状態ニ立至リマシタ時ニ、義務教育費國庫負擔ノ方面ニ於テ、財政調整ノ役割ヲ失ツタ結果、其ノ方面ニ於テ又缺陷ヲ生ジテ、折角ノ配付稅ニ依ル所ノ財政調整ガ、ヤハリ缺陷ヲ生ズルヤウニナリハシナイカ、斯ウ云フコトヲ悞レタ爲デアリマス、サウ云フ虞ハナイデアリマセウカ

○挾間政府委員 御心配ノヤウナ點ハ全然ナイト思ヒマス、度々申上ゲマシタヤウニ、今回ノ配付稅ノ制度ニ依リマシテ、財政調整ヲ致シマス云フコトハ、箇々ノ事務ニ必要ナル各箇具體的ノモノヲ押ヘテヤツテ居ルノデハナイノデアリマシテ、全體ノ道府縣市町村ノ財政ヲ睨ミ合セシテ、ソレニ必

要ナル財源ハ與ヘルコトニナツテ居ル譯デアリマス、隨テ只今御述ニナリマシタヤウニ、例ヘバ財政調整ノ結果、五ノ餘計ノ率ガ高知縣ニ行ツテ居ルノガ、今回ノ負擔法ノ改正ニ依ツテ二ダケ失フコトニナリハシナイカ、斯ウ云フ御心配デアリマスガ、サウ云フ問題ハ起リマセヌノデ、高知縣ナラ高知縣ノ財政全體ヲ睨ミマシテ、サウシテ配付稅ガソコノ財政需要ニ應ズルヤウニ、課稅力モ考ヘテ十分ナル財源ヲ付與スルコトニナツテ居リマスカラ、御心配ニナリマシヤウナ問題ハ起ラヌト考ヘマス、尙ホ附加ヘテ一ツ申上ゲタイト思ヒマスノハ、假ニ各箇ノ問題ニ付テ財政救済的ノ措置ヲ講ズルト致シマスレバ、其ノ結果ハ配付稅ノ配分ノ基準ト致シマシテハ、其ノ點ヲ考慮シテ配付稅ヲ減少スルト云フコトニナルヤウナ問題モ起ツテ來ルカト思ヒマス、此ノ分與稅法ノ中ニ規定シテアル一ツノ例ヲ申上ゲマス、從來沖繩縣ニ對シマシテハ、府縣制施行當時ヨリ稅收入ガ非常ニ少シノデ、二十萬圓ツツ年々國庫ガ補給ヲ致シテ居リマスガ、其ノ補給ヲ致シテ居リマスコトハ、一面ニ於テソレダケノ財政力ガ沖繩縣ニアルト云フコトニモ見ラレマスノデ、沖繩縣ノ課稅力ノ算定ニ付キマシテハ、ソレハ課稅力トシテ加ヘルト云フ風ニ算定方法ヲ作ツテ居ルノモ一例デアリマシテ、要スルニ今回ノ地方分與稅、稅制全體ガ只今御心配ニナリマシタヤウナ教育費ダケノ問題デナク、各種ノ財政計畫ヲ頭ノ中ニ入レマシテ、財政需要ニ應ズルヤウナ財源ヲ與ヘル制度ニナツテ居ルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○佐竹委員 其ノ問題ハ其ノ程度ニ致シマ

シテ、次ハ地租、營業稅、家屋稅ノ各附加稅ノ制限外課稅ヲ許シマシタ結果、財政窮乏ノ農村、漁村等ニ於テハ、早晚此ノ制限外課稅ヲ餘儀ナクセラレマシテ、所管大臣ヤ府縣知事等モ之ニ許可ヲ與ヘルコトノ已ムナキ狀態ガ出テ來ルデアラウト云フコトハ、想像ニ難クナイノデアリマス、隨ヒマシテ地方ノ負擔ノ均衡ヲ破壞スルニ至ルノデハナイカト考ヘルノデアリマス、本會議ニ於テモ之ヲ御尋申上ゲ、他ノ委員ヨリモ御尋ガゴザイマシタガ、尙ホ此ノ點ニ付テ今一應御說明ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

○挾間政府委員 此ノ地方團體ノ財政ノ彈力性ノ問題ニ付テハ、昨日モ御答辯申上ゲテ置イタノデゴザイマスガ、今例ニ御舉ゲニナリマシタ貧弱ナル團體等ニ於キマシテハ、之ヲ一般的ノ問題トシテ申上ゲマス、今回ノ配付稅ノ配付ト云フモノハ、地租、營業稅、家屋稅、其ノ課稅力ヲ用ヒマシテ第一種配付額ヲ分與致シマスカラ、其ノ課稅力ノ弱イ團體ニ對シテハ、配付額ガ多額ニ參ルコトニナルト思フ、ソコデ從來通りノ財政上ノ經理ヲシ、從來通りノ施設經營ヲ其ノ團體ガスルト致シマスレバ、只今其ノ團體ノ住民ガ負擔シテ居ル限度ニ於テ、十分其ノ仕事ガ出來ルヤウナ財源ヲ受ケルコトニナルノデアリマス、且ツ之ヲ全國的ニ平均シテ見マス、地租ニ付キマシテハ、從來ハ賃賃價格ニ對スル一三・一ト云フ課稅ヲ受ケテ居リマスモノガ、百分ノ八ニ下リ、家屋稅ニ付キマシテモ、九「コンマ」幾ラト云フノガ七ニ下ルト云フ狀態デアリマシテ、ソレデ從來通りノ施設經營ヲ致シテ居リマスル分ニハ、少シモ財政上ニ困難ヲ來サナイト思ヒマス、併シナガラ其ノ團體

ガ、特ニソレヨリモ積極的ニ色々ナ事業ヲヤルト云フ場合ニハ、配付稅ニ依ル財源ガ不足デアルト致シマスレバ、三稅ノ多少ノ伸縮性ヲ利用スルコトニナルト思ヒマスガ、是ハ畢竟其ノ團體ガ更ニ「色々ナ事業ヲスルト云フ結果トシテ、其ノ稅ヲ取ルト云フコトニナルノデアリマスカラ、是ハ課率ト施設トヲ並行シテ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマス、併シ從來通りノ經營ヲ致シマス爲ニハ、今回ノ稅制ニ依リマス、負擔ハ輕減コスレ、制限外ノ課稅ヲシナケレバナラスト云フヤウナ狀態ニハ立至ラヌト思フノデアリマス

○佐竹委員 私人見ル所ヲ以テ致シマスレバ、委任事務ハ激増ノ一途ヲ辿ツテ居ルノミデアリマス、現在地方團體ノ職員ノ如キ實ニ慘狀態ニアリマスコトハ申上ゲルマデモアリマセヌ、段々事務ハ殖エテ參リマシ、勞力ハ足りナクナツテ來ル、待遇ノ改善モ叫バレテ參リマセウ、追々經費ガ殖エテ參ルコトハ私ハ當然ダト思フ、唯彈力性彈力性ト仰シヤイマスケレドモ、此ノ彈力性ハ一途激増致シマスル委任事務ノソレニ比シテ、私ハ甚ダ輕微デハナイカト考ヘテ居リマス、併シ幾ラ制限外課稅ヲ設ケルヤウナ狀態ニハナラスト見ル、ナルト見ルト言ツテ押問答シテ見テモ、是ハ將來ノ問題デアリマスカラ、ドウニモナリマセヌ、唯聽キ置ク程度ニシテ置イテ次ノ質問ニ移リマス

次ハ今回地方分與稅ヲ地方ニ分與スルコトニ依リマシテ、地方ノ負擔ガドレダケ輕減サレルノカ、ドウ云フ工合ニ地方稅ガ輕クナルノカ、此ノ點ハ本會議ニ於テモ御質問申上ゲマシタガ、其ノ時內務大臣ハ斯樣

ニ御答ニナリマシタ、地方稅ノ減稅額ヲ計算スルコトハ、補給金ノ關係、新稅ノ關係、分與稅ノ關係等ガアリマスノデ、正確ナル計算ハ困難デアリマスケレドモ、減稅額ダケノ總額ト致シマシテハ、約三億三千万圓程ニナル豫定デアリマス」ト御答ニナリマシタ、又自轉車稅ニ付キマシテハ「之ヲ全廢スルコトニ考慮シタノデアリマス、併シナガラ之ニハ二千餘萬圓ノ代リ財源ヲ要スルコトデモアリ」「市町村稅トシテ存置スルハ、必ズシモ不適當デハナイト云フコトデ、一臺約二圓程度ノ用途トシテ課稅スルコトニ致シタノデアリマス」ト斯樣ニ仰シヤラレタノデアリマス、ホンノ一部ノ御答辯デアリマシタガ、是ガ例ヘバ東京日日新聞等ノ速記ニ依ル記事ガ各地ニ傳ハリマシテ、相當民衆ノ間ニハ反響ヲ呼起シテ居ルコトヲ私共報告ヲ得テ居ルノデアリマス、其ノ後少々日時モ經過シテ居ルコトデモアリマシ、御計算モ出來タコト存ジマスノデ、今回ノ地方分與稅ノ配付デ、地方稅ハドレダケ輕減サレルノカ、例ヘバ荷車稅ハドウナルカ、漁業稅ニハドウ云フ影響ガアルノカト云ツタヤウナ主要ナル稅目ニ對シマシテ、國民ハ大イナル期待ヲ以テ之ヲ聽カウト致シテ居リマスカラ、若シ其ノ概略デモ御聽カセ願ヘマスレバ、非常ニ安心致シ且ツ喜ブコトト存ジマス、御示シテ願ヒマス

○挾間政府委員 今回ノ稅制改正ニ依ル各地方稅ノ減稅額ニ付キマシテハ、本會議ニ於テ內務大臣ヨリ御答辯申上ゲタノデ、大體御承知ヲ願ツタコト思ヒマスガ、更ニモウ少シ碎イテ申シマス、先ヅ戶數割ガ全廢ニナリマスノデ、假ニソレト稍、似タ稅制トシマシテ市町村民稅ヲ考慮ノ中ニ入レマシ

テモ、戸數割全廢ニ依ル輕減ガ非常ニ大キナ額ニ上リマス、ソレカラ地租、家屋稅等ハ課率ヲ申上ゲマス、昨日モ申述ベマシタヤウニ、地租ニ付キマシテハ現行稅制ニ依リマスレバ、一三・一デアツタモノガ八ニナリマス、ソレカラ家屋稅ニ付キマシテハ從來八・三三デアリマシタモノガ、改正稅法ニ依リマスト七ニナル譯デアリマス、其ノ他現行制度ニ付キマシテハ雜種稅ノ中ニ相當輕減ヲ見ルノデアリマス、自轉車稅ハ府縣稅カラ外シマシテ、市町村稅トシテ大體一臺二圓程度ニナリマス、自轉車稅ニ付キマシテハ揮發油稅ノ稅率ノ引上ニ伴ヒマシテ、高率ナモノヲ相當輕減ヲスル見込デアリマス、其ノ外細カイモノニ付テ整理モ致シマスシ、且ツ是ハ引續ノ問題デゴザイマスガ、從來臨時地方財政補給金ニ依ツテ稅ノ輕減ヲ致シテ居リマシタモノ、廢稅ヲ致シマシタモノニ付キマシテハ、其ノ儘之ヲ繼續致シテ參ルコトニナリマス、大體稅種ニ付キマシテノ主ナル點ヲ申上ゲマス、サウ云フコトニナルノデアリマス、然ラバソレガ金額デドレ位アルカト云フ各稅目ニ付キマシテノモノハ、後刻調査致シマシタモノヲ御覽ニ入レルコトニ致シタイと思ヒマス

○堀切委員長 佐竹君、一寸途中デスガ、文部大臣ガ必要アレバ今參ツテモ宜イト言ツテ居リマスガ、來テ戴キマスカ

○佐竹委員 幾ラ聞イテモアレ以上答辯ガナイト思ヒマスカラ宜シウゴザイマス、各稅目ニ關スル輕減ノ豫想額ヲ數字ニ依ツテ御示シテ願ヒマス、ドウカ資料トシテ御出シテ御願致シマス、其ノ次ニハ戶數割廢止ノ關係ヲ承リタイと思ヒマス、戶數割ノ廢止ハ洵ニ結構デアリマス、然ルニ其ノ廢止

ノ結果、數方圓ヲ納メテ居リマシタ大資本家ガ、僅カ千圓デ濟ム譯デアリマス、他面市町村民稅ノ賦課ニ依リマシテ人頭稅ガ課セラレ、負擔ノ能力ノ有無ニ拘ラズ齊シク誰モ彼モガ、相當ノ負擔ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、果シテ穩當ノコトデアラウカ、社會人心ニ及ボス影響ト云フモノハ宜クナイデハナイカ、斯ウ云フ點ヲ本會議デモ御尋申上ゲマシタガ、私共マダ納得ヲスルニ至ル程度ノ御答辯ヲ戴カナカツタノデアリマス、例ヘバ第二種所得ノ綜合課稅ノ問題ニ致シマシテモ、政府ガ急激ナル變化ヲ考慮セラレテ居リマス通り、地方稅ノ關係デモ同様ニ其ノ急激ナル變化ニ付テハ、御考慮アツテ然ルベキデアルト私ハ思フノデアリマス、數方圓ヲ納メテ居ツタ人ガ僅ニ千圓デ宜シイ、一文モ納メテ居ラナカツタ人ガ、假令ソレガ一圓デアリマセウト二圓デアリマセウト、其ノ人ニ取ツテハ相當ノ金額デアルト言ハナケレバナラヌノデアリマシテ、果シテ其ノ邊ハ穩當デアリマセウカ御尋申上ゲマス

○挾間政府委員 戶數割納稅者ニ付テノ御尋デゴザイマスガ、從來此ノ戶數割ヲ一萬圓以上納稅致シテ居リマシタ人ハ、全國デ三十二名シカナイノデ、此ノ三十二名ノ中デ二十四人ハ今回ノ稅制改正ニ依リマシテ、國稅地方稅ヲ通ジテ考ヘマスト負擔ガ増スコトニナリ、他ノ八名ハ今回ノ稅制改正ニ依リマシテ、多少ノ減稅ヲ受ケルコトニナルノデアリマスガ、ソレハ大體具體的ニ縣ノ名前ヲ申上ゲルコトハ避ケタイト存ジマスガ、貧弱ナル地方デゴザイマシテ、謂ハバ其ノ人ニ對スル負擔ガ必要以上ニ過重デアツタト云フ狀況アル、隨テ是ハ減額セ

ラレルト云フコトガ、負擔ノ均衡ノ上カラ申シマシテ適當デアルト思ヒマス、斯ウ云フコトヲ綜合シテ考ヘマス、今回戶數割廢止ニ依リマシテ、サウシタ人々ノ負擔ガドウデアアルカト云フコトヲ御覽戴クノニハ、國稅地方稅ヲ通ジテ御考下サラナケレバナラスト思ヒマス、サウスルト只今申上ゲタヤウナ、極メテ妥當ナル結果ヲ得ルコトニナツテ居ルノデアリマス

○佐竹委員 僅カ三十二名ト仰シヤイマスガ、ソレハ負擔ノ過重ニ堪ヘ兼ネデ、大概貧弱町村カラ逃ゲ出シテシマツタ、後ニ殘ツタノハ最後ニドウニモナラヌ殘留組デアリマス、本當ノコトヲ言ヘバ是ハ實際逃ゲ出サヌ前ノ計算カラ申シマス、相當ノ人數ニナラナケレバナリマセヌ、先ヅ假定ノ數字ニ依ツテ論ジテモ仕方ガゴザイマセヌノデ、私ハ更ニ進ンデ戶數割ノ廢止ニ伴フ影響ニ付テ、御伺ヲ致シテ見タイト考ヘマス、戶數割廢止ノ結果所謂隱レタル戶數割、即チ地方團體ノ經費ノ一部ト見ルベキ公共的ナモノデゴザイマシテ、例ヘバ何々團體ノ會費デアルトカ、何々會ノ負擔金デアルトカ、何々寄附金ト云フヤウナ工合ニ、負擔ガ相當増シテ參リマシテ、可ナリナ弊害ヲ來スデハナイカト私共憂フルノデアリマス、此ノ所謂隱レタル戶數割ト云フノハ、戶數割ガ課セラレテ居リマシタ過去現在ニ於テモ相當ノ問題デアリマシテ、是ガ對策ニ付テハ爲政者ノ間ニモ御苦心ヲナサツテ居ラレマスコトハ分リマス、昭和十年ノ十月、岡田内閣當時ノ内閣審議會ニ於テ、地方財政改善ニ關スル内閣審議會中間報告ト云フモノガゴザイマス、此ノ中ニ斯ウアリマス、

「現在各地方ニ存スル法令上法令外ノ各種團體ノ費用負擔並ニ各種寄附金ノ分擔ハ事實上租稅負擔ニ準ズベキ狀況ニ在ルヲ以テ地方負擔ノ輕減ヲ圖ル爲メニハ此方面ニ於テモ相當整理ヲ加フル要アルモノト認ム」トゴザイマスガ、相當重視サレテ來タノデアリマス、戶數割ガ課セラレテ居ル時デサヘモ斯ウシタ狀態デアリマスカラ、戶數割ガ廢止サレルコトニナリマスレバ、戶數割ニ依ツテ賄ツテ居ルト云フ方面マデモ、所謂隱レタル戶數割ニ依ツテ處理セシケレバナラヌコトニナリマシテ、是ガ爲ニ甚ダシク負擔ノ不均衡ヲ來シ、或ハ情實感情等ニ左右セラレルコトニナリマシテ、其ノ弊害ハ想像スルニ難クナイト私共思フノデアリマス、政府ハ戶數割ヲ廢止爲サイマスナラバ、何ガ故ニ其ノ際隱レタル戶數割ノ弊害是正ニ付テモ、相當ノ策ヲ御立デニナラナカツタカ、今回ノ改正案ヲ通覽致シマスル時、其ノ點ニ付テノ用意ガ足ラナイデハナイカト考ヘマスガ、如何デアリマセウ

○挾間政府委員 戶數割廢止ニ伴ヒマシテ地方ノ負擔ガ輕減スル結果トシテ、寄附トカ或ハ協議費トカ云フヤウナモノガ、益増加シテ來ナイデアラウカト云フ御心配ニ付キマシテハ、御尤モナ御意見ノヤウニモ存ズルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ今回ノ稅制改正自身トシテ考慮致シマシタ問題トシテハ、例ヘバ共同施設稅ノ如キモノモ考慮致シテ居リマスシ、又地方制度ノ上ニ於キマシテハ、受益者分擔金ニ關スル制度モ、新シク設クルコトニ致シマシタ、其ノ外地方團體自身ノ財源トシテ、從來非常ニ窮乏シテ居ツタ地方ニハ、相當必要ナル財源ヲ十分與ヘルコトニナツテ居リマスノデ、謂ハバ地方財政上ノ必要ト云フモノ

ガ、法制ノ上ニ制度化サレタル金トシテ落
チテ行クコトニナツテ参リマスノデ、其ノ
點カラ致シマシテ、從來動モスレバ寄附等
ニ求メテ地方施設ヲ致シテ居リマシタモ
ガ、地方團體自身ノ財政經理ニ依ツテ支辨
ガ出來ルコトニナリマスノデ、寧ロ其ノ方
面ヲ防止スル作用ガ出來ルノデハナイカト
思ツテ居リマス、尙ホ是ハ現在ノ制度、將
來ノ制度ニモ共通シタ問題デアルト思ヒマ
スガ、必要ナ經費ハ地方ノ經費ノ中ニ組込
ンデヤルヤウニト云フ一般ノ指示ヲスル
必要ガアルト思ヒマス、ソコデ財源ガ足り
ナイト動モスレバ一般ノ寄附ヲ求メルト云
フヤウナコトニナルデアリマスカラ、今
回ノ財源付與ニ依ツテ其ノ點ガ十分防止出
來マスガ、尙ホ起債ノ許可、或ハ三稅ノ附
加率ノ引上ト云フヤウナ場合ニ、監督官廳ト
シテソレヲ審査致シマス際ニ、餘リニ其ノ
財源ニ寄附ト云フヤウナモノガ多額ニ見積
ラレテ居ルト云フ場合ニハ、再考ヲ促スト
云フヤウナ手段モ執ルコトガ出來ルヤウニ
考ヘテ居リマシテ、其ノ點ハ十分注意ス
ル考デアリマス、併シナガラソレデモ防
止出來ナイト云フ問題ニ付キマシテハ、是
ハ結局取締規定ト云フコトニナルト思フ
デアリマスガ、ソコマデ行クコトニ付キマ
シテハ、社會生活ノ現狀カラ見マシテ、相
當慎重ニ考慮致サナケレバナラナイ問題デ
アル、俄ニソコニ豫斷ヲ下スコトハ困難デ
アルト思ヒマスガ、御述ベニナリマシタ
ヤウナ點ニ付キマシテハ、只今申上ゲマシタ
問題ニ付テ十分考慮ヲ廻ラシテ行カナケレ
バナラスト考ヘテ居リマス

○佐竹委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ、

將來ノ對策ガ十分ナリト私ハ考ヘラレマセ
ス、元來隱レタル戸數割ト云フモノハ、過
去ニ於テ御承知ノヤウニ地方附加稅ノ極度
マデ賦課致シマシテ、獨立稅ハ取レルダケ
取り、又戸數割ニ於キマシテモ相當無理ナ
賦課ヲ致シマシタ上ニ、モウ他ノ方面カラ寄
附金デモ取ツテ來ルヨリ外ニハナイト云フ
ノデ、半強制的ニ割付ケテ參ツテ居ワタノ
デアリマス、今度戸數割ガ廢止セラレマシ
タ上ニ、市町村ノ委任事務ガ今後減ルカト申
シマス、是亦決シテ減ラナイ、増加シテ
參リマセウ、私ガ本會議ニ於テ指摘致シマ
シタ通り、委任事務ハ激増ノ一途ヲ辿ツテ
居リマス、政府ノ言フ所ノ地方稅ノ彈力性
ニハ限度ガアリマスガ、委任事務ノ膨脹ハ實
ニ飛躍ノニ増進ヲ致シマス、斯ウ云フ狀態ノ
下ニ於テハ、將來隱レタル戸數割ノ弊害ハ相
當深刻ニナルデハナイカト云フコトハ、是
ハ當然想像シナクテハナラヌ問題デアリマ
ス、果シテ然リト致シマス、ナラバ、今回戸
數割ヲ廢止致シマス同時ニ、其ノ後ニ來
ルベキ臨時措置ト致シマシテ、適當ノ善後
措置ガ此ノ改革案ノ中ニ盛ラレテ居ルベキ
デハナイカ、是ガ缺ケテ居ルヤウニ思フガ
ドウカト云フノガ、私ノ質問デアリマス、
モウ一度御答辯ヲ願ヒマス

○佐竹委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ、

必要ナ十分ナル財源ガ與ヘラレルコトニナ
ツテ居ルノデアリマス、ノミナラズ共同施
設稅其ノ他地方共同ノ利益ノ爲ニスルモノ
ニ付テハ、更ニ財源ヲ與ヘルコトニ致シテ
居リマスカラ、寧ロ寄附、協議費等ニ依ツ
テ爲サナケレバナラナカツタ仕事ガ、當然
其ノ團體ノ受クベキ財源ニ依ツテ賄ヒ得ル
ノデアリマシテ、サウ云フ弊害ヲ今回ノ稅
制改正ニ依ツテ餘程減殺スルコトガ出來ル
ト思ツテ居リマス、尙ホ委任事務等ガ非常
ニ増加スル問題ニ付テ御述ベモゴザイマシ
タガ、此ノ點ニ付キマシテモ、對策ト致シ
マシテハ政府ニ地方行政連絡委員會ヲ設ケ
マシテ、此ノ點ノ將來ノ方向ニ付キマシテ
モ、關係ノ各省ガ御互ニ協議致シマシテ事
務ヲ進メルヤウナ措置ヲ講ズルヤウニ、來
年度ヨリ致スコトニナツテ居ルノデアリマ
ス

○佐竹委員 將來ノ見透シニ付テノ問題ハ

ヲ各年度ニ割リマシテ其ノ數字ヲ御示シ願
ヒタイト共ニ、國家ノ警察費デサヘモ是デ
アルト致シマスナラバ他ハ推シテ知ルベキ
デハナイカト思フノデアリマス、是ガ爲ニ
種々ノ情實ヲ生ミ感情ヲ生ジ、職務ノ公正
スラモ危ブマレマシテ、社會ニ疑惑ヲ流シ
テ居リマスルコトハ是ハ事實デアリナイカ、
斯様ニ考ヘル、私ハ此ノ際政府ト致シマシ
テハ、是等ノ隱レタル租稅ヲ徹底的ニ法制
ノ上カラ整理ヲナサイマスコトガ適當デハ
ナイカト思フノデアリマス、地方ノ團體ニ
關スル點ハ先ヅ別ト致シマシテ、範ヲ示ス
ノ意味合ニ於テ、此ノ警察費中ノ寄附金ノ
如キハ整理サレルベキデハナイカト考ヘマ
スガ、如何デアリマスカ

○佐竹委員 地方ニ依ツテハモウ警察廳舍

バ料理店トカ何トカ云フ許可營業者、警察カラ睨マレテハ立チ得ナイ營業者ナンカハ、相當睨ミヲ利カサレテ寄附金ヲ徴セラレテ居ル、睨ニ疵持ツ連中ハ一寸一言ヤラレト、ヘー、ト云ウテ寄附金ヲ納メル、ドウモ警察ガ寄附金ヲ取ツテ、是デ以テ國費ヲ賄ウテ行カウナント云フコトニ致シマス、是ハ色々情實ガ生レテ來マス、感情ガ生ジテ參リマス、國政ハオ互ノ負擔ニ依ツテヤツテ行ツタラ宜イノデハナイカ、特殊ノ關係ヲ連ツテ見タリ、色々ナ虚ヲ突イテ見タリ、睨ミヲ利カシテ見タリ致シマシテ出來上リマシタ廳舎ハ、餘リ公平ニ善良民ニ對スル所ノ睨ミヲ利カスニハ不當デハナイカト私ハ思フ、是ハモウ只今申シマスル所ノ隱レタル戸數割ヲ整理シナケレバナラスト云フ其ノ範ヲ示ス意味ニ於テ、

○堀切委員長 從來ハ斯ウ云フ問題ハ全然放任シテ居タノデスカ、又ハ何カ統制ガアツタノデスカ

○挾間政府委員 甚ダ答辯トシテ不徹底カモ知レマセヌガ、實ハ私モ其ノ方面ハ餘リ詳シクゴザイマセヌデ、私ノ存ジテ居リマス限度ニ於テ御答申上デマシテ、御述ベニナリマスコトハ十分篤ト考究ヲ致シタイト思ヒマスガ、別段限度其ノ他ニ付テ一定ノ方針ヲ指示シタモノハゴザイマセヌデ、尙ホ警察費ノ經理ノ問題ニ付キマシテ御述ベニナリマシタ諸點ハ、或ハ行過ギ等モノナイトモ限ラナイカト思ヒマシテ、其ノ點ハ當局トシテ考慮致シマスガ、唯是ハ地方ノ利益トナリ、又一種ノ地元負擔ト云フ

ヤウナ意味モゴザイマシテ、一概ニ申上ダ兼ネル點モアラウト存ズルノデアリマスガ、其ノ限度ヲ超エル部分、行過ギノ點等ガゴザイマスレバ、是ハ十分當局トシテハ之ヲ抑制スル方針ニ出デナケレバナラスト考ヘテ居リマス、ソコノ適當ナル按配ニ付テハ十分考慮致シタイ存ジテ居リマス

○佐竹委員 地元負擔ト云フ性質ガアルト致シマスナラバ、ソレハ市町村トカ公共團體ヲ通ジテ納入セシムルカト云ツタヤウナ、何カ公ナモノニシナケレバナラスト、苟モ國費デ以テナサルベキ所ノ國家ノ經費ヲ、個人的取引デ以テ組上デ行クト云フコトハ、私ハ是ハ正當デハナイト思フ、今一ツ抑制ト仰シヤラレマスケレドモ、一體是ハドウ云フ風ニ抑制ナサイマスカ、之ヲ一ツ承リタイ

○挾間政府委員 地元負擔ノ性質ニ付キマシテハ、成ベク御述ニナリマシタヤウナ方法ヲ取ルノガ適當デアルト思ヒマス、尙ホ監督ノ方法ニ付キマシテハ、當局ニ於テ適當ナル考慮ヲ致シ積リデゴザイマス、御任セヲ願ヒタイト思ヒマス

○佐竹委員 安心ガ行キスマレバ御任セスルモセヌモゴザイマセヌ、アナタ方ガ御自由ニヤツテ居ラレノデゴザイマスカラ默ツテ見テ居リマスガ、併シ安心ガ出來ナケレバ質問ダケハ是ハ已ムヲ得マセヌ、ドウカ一ツ安心ノナルヤウニ御示シテ願ヒタイ、實ハ私共分ラスカラ御尋シテ居ルノデアリマス、警察ノコトハ、何ト申シマスカ、治安維持ノ根幹ヲ成スモノデゴザイマスノデ、是ハ内務省ガ警察ニ對シテ費用ヲ出シ惜ミシタリ、各ナコトヲヤツテ居ルカラサウナルノデアリマシテ、コンナコトハ國家

ガドン、ヤラレタラ宜イノデス、地方負擔、寄附金ニ持ツテ行ケバ何トカナルダラウト云ツタヤウナ甘イ事ヲ考ヘルカライケナイノデス、國自ラヤラウト考ヘマシタナラバ、是ハ國家治安ノ中樞ヲ成ス官廳デゴザイマスカラ、是ダケノ事ハヤツテ除ケラレナイコトハ私ハナイト思フ、寄附金ノコトハ此ノ際一切御考ヘニナラナイヤウニ、又實際其ノ當路ノ人々モ可哀相デアリマス、私ハ決シテ警察攻撃ヲヤツテ居ルノデモ何デモゴザイマセヌ、警察署長以下巡查ニ至ルマデ、實際頭ヲ下ゲテ各戸ヲ巡ツテ寄附ヲ求メテ居リマス狀態ハ寧ろ氣ノ毒デアリマス、是ガドン、ト國費デ以テ支辨サレマスナラバ、警察署長以下各職員ハ仕事ノ能率モ上ツテ、是ハ大變助カレデヤナイカト私ハ思フ、各警察職員ニ於テモ望マシイコトデヤナイカト私共ハ考ヘテ居ル、其ノ總元締デアリマス所ノ内務省ガ餘リアヤフヤサレテ居ツタノデハ、是ハ任スモ任サヌモアリマセヌガ、ドウカ私共ガ安心ノ出來ルヤウナ態度ダケハ茲ニ表明シテ戴キマシテ、私共ノ據リ所ヲ一ツ御示シテ願ヒタイ

○挾間政府委員 警察費連帶支辨金ニ付キマシテモ、政府トシテハ今回非常ニ考慮ヲ致シテ居ルノデアリマス、將來地方ノ財政計畫等ニ付キマシテモ、不必要ノ限度ヲ超エマシテ不當ナ經理ハ致サセナイヤウニ十分注意ヲ致シタイト思ヒマス

○森田委員 一寸關聯シテ佐竹君ノ質問ニ對スル地方局長ノ御答ハ、研究スルカ調査スルカ云フダケデ、ドノ線カラ限界ヲ付ケテ行クカト云フコトガ分ラヌノデアリマス、昨日板谷君ガ、個人ノ寄附ニ付テ、所得ノ決定ニ際シテハソレハ法人同様控除ス

ルカト云フコトヲ問ウタラバ、主税局長ハ控除セヌト云フ、今ノ佐竹君ガ尋ネテ居ラレル所謂隱レタル戸數割、警察署ノ廳舎ノ建築ハ勿論ノコト、派出所及ビ備付ノ自動車、大體是ハ皆強制的ナ寄附デス、ソレカラ御承知ノ學校ノ講堂ヲ建築スルカ、或ハ警防團ノ廳舎或ハ警防團ノ什器具ト云フヤウナモノハ皆寄附ニ俟ツテ居ル、是ハ悉ク寄附デス、是ガ即チ隱レタル戸數割トデモ申スノデアリマセウ、割付ケテ來ル、大體アナタノ方ニ幾ラ御願スルコトニシテ居リマス、斯ウ云フ風ニヤツテ來ル、ソコデ今サウ云フヤウナ事ノナイヤウニスルナリ、御任セ願ヒタイト仰シヤツタガ、此ノ四月カラドウナサルノデスカ、サウ云フコトハ一切取止メサスカ、地元ノ受益者云々、是ハ道路下水ニハ御承知ノ通り受益者負擔ト云フモノヲ出シテ居ル、或ハ警察署ヲ一ツ置イテ貰フト云フコトデ地元ノ人ガ負擔スル、ソレハ生命財產ヲ保護スルノハ國家ガ當然ナルベキモノデ、ソレニ對スル負擔ハ受益者ガ税金トシテ負擔シテ居ルノデアラカラ、税金デ負擔シタ以外ニ、サウ云フ負擔ヲ言付ケラレルコトハ受益者トシテハ困ル、ソコデ地元ノ負擔トスベキモノデアルト云フヤウナ意味ノ答辯ハドノコトヲ御指シニナツタノデアリマスカ、ソレヲ御答辯願ヒタイノト、ヤハリ今後モ斯ウ云フ方面ノ寄附ヲ——是ハ文部省ニモ關係ガアルガ、大體地方デ寄附ヲ一番餘計言ウテ來ルノハ警察關係デス、殊ニ近來警防團ト云フモノガ組織サレテ機構ガ新シクナツタト云フカ、是ノ寄附ハ中々大キナ寄附ヲ言ウテ來テ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ寄附デアルトカ、警察ノ廳舎、派出所、自動

ルカト云フコトヲ問ウタラバ、主税局長ハ控除セヌト云フ、今ノ佐竹君ガ尋ネテ居ラレル所謂隱レタル戸數割、警察署ノ廳舎ノ建築ハ勿論ノコト、派出所及ビ備付ノ自動車、大體是ハ皆強制的ナ寄附デス、ソレカラ御承知ノ學校ノ講堂ヲ建築スルカ、或ハ警防團ノ廳舎或ハ警防團ノ什器具ト云フヤウナモノハ皆寄附ニ俟ツテ居ル、是ハ悉ク寄附デス、是ガ即チ隱レタル戸數割トデモ申スノデアリマセウ、割付ケテ來ル、大體アナタノ方ニ幾ラ御願スルコトニシテ居リマス、斯ウ云フ風ニヤツテ來ル、ソコデ今サウ云フヤウナ事ノナイヤウニスルナリ、御任セ願ヒタイト仰シヤツタガ、此ノ四月カラドウナサルノデスカ、サウ云フコトハ一切取止メサスカ、地元ノ受益者云々、是ハ道路下水ニハ御承知ノ通り受益者負擔ト云フモノヲ出シテ居ル、或ハ警察署ヲ一ツ置イテ貰フト云フコトデ地元ノ人ガ負擔スル、ソレハ生命財產ヲ保護スルノハ國家ガ當然ナルベキモノデ、ソレニ對スル負擔ハ受益者ガ税金トシテ負擔シテ居ルノデアラカラ、税金デ負擔シタ以外ニ、サウ云フ負擔ヲ言付ケラレルコトハ受益者トシテハ困ル、ソコデ地元ノ負擔トスベキモノデアルト云フヤウナ意味ノ答辯ハドノコトヲ御指シニナツタノデアリマスカ、ソレヲ御答辯願ヒタイノト、ヤハリ今後モ斯ウ云フ方面ノ寄附ヲ——是ハ文部省ニモ關係ガアルガ、大體地方デ寄附ヲ一番餘計言ウテ來ルノハ警察關係デス、殊ニ近來警防團ト云フモノガ組織サレテ機構ガ新シクナツタト云フカ、是ノ寄附ハ中々大キナ寄附ヲ言ウテ來テ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ寄附デアルトカ、警察ノ廳舎、派出所、自動

車ト云フモノガ皆寄附ニ俟ツテ居ル、ガツ
リン・ポンプ」ノ如キモノモ場合ニ依レバ是
モ寄附デス、何臺シカナイカラアト何臺殖
ヤシタイト思フガ、金ガナイカラ寄附シテ
呉レト云フコトデ來ル、講堂ノヤウナモノ
モサウデアル、是ハ今後トモ内務省ガ大目
ニ見ルノデハ困ル、又寧ロ獎勵シテ寄附ヲ
繼續シテヤラセルト云フノナラバ、アナタ
ノ方ハ大藏省ニ交渉シテ、是ハ當然所得ノ
中カラ此ノ寄附金額ニ相當スルモノハ控除シ
テヤルベキデス、若シ自分ノ所得ノ中カラソ
レヲ引イテハナラヌト云フナラバソレハ法人
デモ引イテハナラヌノデス、法人ノ寄附ト個
人ノ寄附トハドウ云フ點ニ違ヒガアルカ、地
方局長ニ御答願ヒタイノハ、今後サウ云フ
方面ノ寄附ハ本當ニ是ハ本人ガ自ラ進ンデ
ヤラウト云フナラバ別問題デアル、自由意
思ニ基キテ、進ンデ寄附サセテ下サイト云
フナラバ別問題デアルガ、向フカラ寄附願
ヲ作ツテ來テ、一寸之ニ御判ヲ願ヒマス

分得ルコトニ按排ヲ致シテ居リマス、元來
申シマスト大體必要ナル經費ハ、其ノ財源
ニ依ツテ經理スルコトガ最モ適當デアルト
思ヒマス、唯寄附ノ問題ニナリマス、只
今御述ニナリマシタヤウナ色々施設ニ付
キマシテ、自由意思ニ依ツテ是非ハ或ル
程度自分デ寄附シテ行キタイト云フヤウナ
人モ出デ來ルカモ知レヌト思ヒマス、又一
面カラ無理ヲ強要スルト云フヤウナコトモ
アルト思ヒマス、ソコニハ自ラ判然トハ限
界ガゴザイマセスガ、社會通念上或ル限
ト云フモノガ引キ得ラレルノデハナイカト
思フ、當局トシマシテハ無理ナ強要ヲスル
ト云フコトハ、是ハ將來絕對ニ避ケナケレ
バナラヌト考ヘテ居リマス

ウシテ賣ツテ儲ケタト云フ場合ニモ別ニ益
金ニ見テ居ナイ、斯ウ云フ點ガアリマス、隨
テ個人ノ方ニハ出テ行クモノモ總テ經費ニ見
ルト云フコトハ原則ト致シテヤツテ居マセス、
所得ヲ得ルニ必要ナルモノダケラ經費ニ見
ル、斯ウ云フ風ニシテ居ル次第デアリマシ
テ、ソコニ於テ法人ニ於テハ寄附金ヲ損ニ
見ル、個人ニ於テハ損ニ見ナイト云フ理由
ガ出テ來ルノデアリマス、唯其ノ法人トシ
テハ自ラ又檢討ノ餘地ガアルト思フノデア
リマスガ、世界各國ノ事例ヲ見マシテモ、
此ノ寄附金ヲ損ニ見テ居ルト云フ例ハ少イ
ノデアリマスガ、現在亞米利加ニ於テハ致
シテ居リマス、併シ亞米利加ニ於テハ寧ロ
此ノ寄附金ヲ損ニ見ルト云フ建前ヲ執ツテ
居ルノカ、或ハ又寄附金ヲ無條件ニ損ニハ
見ナイノダ、一定ノ制限ヲ置イテ、制限超
過ノモノハ益金ニ見ナイト云フ建前ヲ執ツ
テ居ル節ガアルノデアリマシテ、法人ニハ
其ノ事業年度益金ノ百分ノ五ヲ限度ト致シ
マシテ、ソレハ勿論超過シタ場合ハ損ニ見
テ居リマセス、ソレカラ個人ニ於テハ百分
ノ十五ヲ限度トシテ居リマス、ソレハ個人ノ
方ハ日本ノ稅法ノ建前ト違ヒマシテ、一時所
得モ總テ益金ニ見テ居リマス、其ノ代リ財產
ノ處分損ニ見テ居ル、ソレカラ泥棒ニ
持ツテ行カレタモノモ損ニ見テ居リマス、
斯ウ云フ建前ニ致シテ居リマスカラシテ、
サウ云フ立テ方ノ個人ノ所得稅法ニ於テハ、
寄附金モ損ニ見ルノモノ一應ノ理由ガアルト
思ヒマス、殊ニ亞米利加ノ如キハ世界各國
ニ於テモ寄附金ノ多イ國ダト思ヒマスガ、
其ノ國ニ於テモ、泥棒ニ持ツテ行カレタモノ
ヲ損ニ見ル場合ニ於キマシテモ、寄附金ニ
於キマシテハ百分ノ十五ヲ限度トシテ損ニ

見ルト、斯ウ云フコトニ致シテ居リマシテ、
寧ロ寄附金ヲ無條件ノ損ニハ見ナイノダ、
斯ウ云フ建前トモセラレルノデアリマス、
我國ハ近年寄附金ガ多クナツタカラシテ、
之ヲ個人ノ所得トシテ計算スル場合ニモ損
ニ見タラドウカト云フ御説ハ度々伺ヒマシ
テ、私共十分今回ノ改正ニ當リマシテモ檢
討致シマシタガ、前ニ申上ガマシタ一時所
得ト云フモノモ全部取入レ得ナイ今日ト致
シマシテハ、其處マデ進ンデ行クノモ如何
カト存ジマス、是ハ將來ノ問題ニ致シタイ、
斯ウ存ジテ居リマス

○森田委員 何レ詳シイコトハ私ノ番ノ時
ニ致シマスガ、今ノ主務局長ノ御話デハ理
論ハ一貫セヌノデアリマス、ナゼナラバ、
法人ハ御承知ノ通り、有價證券ノ賣上利
益モ、不動産ノ賣上利益モ收入ノ中ニ入ツ
テ來マス、是ハ認メマス、其ノ代リ其ノ反
對ニ法人ハヤハリ差損金ガアレバ損金ニス
ル、アナタハ儲ケタ時ノコトバカリ仰シヤ
ルカラ聽イテ居ル方ハサウ思ヒマスガ、法
人ハ損ヲシタ場合ニハ支出目ニ出テ來ルノ
デス、有價證券ヲ持ツテ居ツテ損ヲシタ時
ニハ、支出ノ部ニ出ル、土地ヲ高ク買ツテ、
安ク賣ツタナラバ、其ノ損モ差損金トシテ
支出ノ部ニ出テ來ルノデス、儲ケタ時ノ收
入ヲ認メルガ、又賣ツタ時ノ損ヲモ認メル、
個人ニハ丁度其ノ反對ニ一時所得ヲ認メナ
イガ、一時損モ認メナイ、ソレヲ能ク一ツ
御考下サイ、アナタノ御議論ハ一貫シテ居
ラスコトヲ言ツテ居ル、ガカラサウ云フ風
ノ計算ヲ御立デニナツテ居ル、個人ノ一時
所得ハ成程有價證券デアラウガ、不動産デ
アラウガ、課稅シテアリマセス、所得ト見
テナイガ、併シナガラ其ノ反對ニ個人ニハ

言ツテ來ルノハ、是ハ本當ノ話ハ校イ話デ
アル、ソレデアアルカラサウ云フコトノナイ
ヤウニ、本當ニ寄附ハヤラセナイヤウニ願
ヒタイ、御任セ願ヒマスナドト言ハレズニ
明瞭ニシテ戴キタイ、私ハ取ラヌ方ガ宜イ
ト思フガドウカ、ソレカラ今ノ稅ノ問題ニ
付テハ、ドチカラナリト區別ヲシテ貰ハ
ナケレバナラス、法人ニ於テハドウ云フ理
由デ寄附ヲシタ場合ニ支出ト認メルカ、個
人ノ場合ニハソレヲ支出ト認メヌト云フ、
法人ト個人ノ區別ノ根據ヲ明ニシテ貰ヒタ
イ

○大矢政府委員 寄附金ヲ法人ニ於テハ損
ニ見ルガ、個人ニ於テハ損ニ見ナイノハドウ
云フ譯カト云フ御尋ニ對シマシテ御答致シ
マス、我國ノ法人關係ノ所得ヲ見ル場合ニ
於キマシテハ入ツテ來ルモノ一切ヲ收入
金ト見テ居ルノデアリマス、ソレカラ株主
ニ對スル配當トカ或ハ重役ノ賞與トカ、此
ノ度ハ所得稅臨時利得稅モ損ニ見ナイト云
フヤウニシテ置クノデアリマスガ、斯ウ云
フ風ナモノ以外ニ、社外ニ出テ行クモノハ
總テ損ニ見ルト云フ、斯ウ云フ建前ヲ取ツ
テ居ルノデアリマシテ、其ノ建前カラ致シ
マシテ、ヤハリ此ノ寄附金モ法人ノ社外ニ
出テ行カレタモノト云フノ損ニ見テ居ルノデ
アリマス、然ルニ個人ノ方ニ於キマシテハ、
一切ノ收入金ヲ益金ニ見ルト云フコトハ致
シテ居リマセス、例ヘバ土地ヲ持ツテ居タ
ノヲ處分シテ相當ナル利益ヲ得タト云フ場
合ニモ、別ニ所得ニ見テ居リマセス、プレ
ミアム」ノ附ク株式ヲ額面デ引受ケテ、サ

ウシテ賣ツテ儲ケタト云フ場合ニモ別ニ益
金ニ見テ居ナイ、斯ウ云フ點ガアリマス、隨
テ個人ノ方ニハ出テ行クモノモ總テ經費ニ見
ルト云フコトハ原則ト致シテヤツテ居マセス、
所得ヲ得ルニ必要ナルモノダケラ經費ニ見
ル、斯ウ云フ風ニシテ居ル次第デアリマシ
テ、ソコニ於テ法人ニ於テハ寄附金ヲ損ニ
見ル、個人ニ於テハ損ニ見ナイト云フ理由
ガ出テ來ルノデアリマス、唯其ノ法人トシ
テハ自ラ又檢討ノ餘地ガアルト思フノデア
リマスガ、世界各國ノ事例ヲ見マシテモ、
此ノ寄附金ヲ損ニ見テ居ルト云フ例ハ少イ
ノデアリマスガ、現在亞米利加ニ於テハ致
シテ居リマス、併シ亞米利加ニ於テハ寧ロ
此ノ寄附金ヲ損ニ見ルト云フ建前ヲ執ツテ
居ルノカ、或ハ又寄附金ヲ無條件ニ損ニハ
見ナイノダ、一定ノ制限ヲ置イテ、制限超
過ノモノハ益金ニ見ナイト云フ建前ヲ執ツ
テ居ル節ガアルノデアリマシテ、法人ニハ
其ノ事業年度益金ノ百分ノ五ヲ限度ト致シ
マシテ、ソレハ勿論超過シタ場合ハ損ニ見
テ居リマセス、ソレカラ個人ニ於テハ百分
ノ十五ヲ限度トシテ居リマス、ソレハ個人ノ
方ハ日本ノ稅法ノ建前ト違ヒマシテ、一時所
得モ總テ益金ニ見テ居リマス、其ノ代リ財產
ノ處分損ニ見テ居ル、ソレカラ泥棒ニ
持ツテ行カレタモノモ損ニ見テ居リマス、
斯ウ云フ建前ニ致シテ居リマスカラシテ、
サウ云フ立テ方ノ個人ノ所得稅法ニ於テハ、
寄附金モ損ニ見ルノモノ一應ノ理由ガアルト
思ヒマス、殊ニ亞米利加ノ如キハ世界各國
ニ於テモ寄附金ノ多イ國ダト思ヒマスガ、
其ノ國ニ於テモ、泥棒ニ持ツテ行カレタモノ
ヲ損ニ見ル場合ニ於キマシテモ、寄附金ニ
於キマシテハ百分ノ十五ヲ限度トシテ損ニ

見ルト、斯ウ云フコトニ致シテ居リマシテ、
寧ロ寄附金ヲ無條件ノ損ニハ見ナイノダ、
斯ウ云フ建前トモセラレルノデアリマス、
我國ハ近年寄附金ガ多クナツタカラシテ、
之ヲ個人ノ所得トシテ計算スル場合ニモ損
ニ見タラドウカト云フ御説ハ度々伺ヒマシ
テ、私共十分今回ノ改正ニ當リマシテモ檢
討致シマシタガ、前ニ申上ガマシタ一時所
得ト云フモノモ全部取入レ得ナイ今日ト致
シマシテハ、其處マデ進ンデ行クノモ如何
カト存ジマス、是ハ將來ノ問題ニ致シタイ、
斯ウ存ジテ居リマス

○森田委員 何レ詳シイコトハ私ノ番ノ時
ニ致シマスガ、今ノ主務局長ノ御話デハ理
論ハ一貫セヌノデアリマス、ナゼナラバ、
法人ハ御承知ノ通り、有價證券ノ賣上利
益モ、不動産ノ賣上利益モ收入ノ中ニ入ツ
テ來マス、是ハ認メマス、其ノ代リ其ノ反
對ニ法人ハヤハリ差損金ガアレバ損金ニス
ル、アナタハ儲ケタ時ノコトバカリ仰シヤ
ルカラ聽イテ居ル方ハサウ思ヒマスガ、法
人ハ損ヲシタ場合ニハ支出目ニ出テ來ルノ
デス、有價證券ヲ持ツテ居ツテ損ヲシタ時
ニハ、支出ノ部ニ出ル、土地ヲ高ク買ツテ、
安ク賣ツタナラバ、其ノ損モ差損金トシテ
支出ノ部ニ出テ來ルノデス、儲ケタ時ノ收
入ヲ認メルガ、又賣ツタ時ノ損ヲモ認メル、
個人ニハ丁度其ノ反對ニ一時所得ヲ認メナ
イガ、一時損モ認メナイ、ソレヲ能ク一ツ
御考下サイ、アナタノ御議論ハ一貫シテ居
ラスコトヲ言ツテ居ル、ガカラサウ云フ風
ノ計算ヲ御立デニナツテ居ル、個人ノ一時
所得ハ成程有價證券デアラウガ、不動産デ
アラウガ、課稅シテアリマセス、所得ト見
テナイガ、併シナガラ其ノ反對ニ個人ニハ

高イ値ヲ買ウテ、安イ値ヲ賣ツタ時ノ損モ認メマセヌ、其ノ人ノ必要ナ經費トシテ認メテ居リマセヌ、土地ヲ十圓買ウタモノヲ八圓ニ賣ツタカラトテ、其ノ二圓ノ差損金ハ其ノ收入カラ引イテアリマセヌ、個人ノハ收入ヲ見テ居ラナイガ、損失モ見テ居ラナイ、法人ハハ收益ハ見テ居ル代リニ損失モ認メテ居ル、同ジデハアリマセヌカ、此ノ點ハ上ル時ノコトバカリ勘定ヲ致シテ居リマスガ、下ル時モアルノダカラ、ソレカラ行クナラバアナタノ理論ハ一貫セヌ、是ハ私ノ番デナイカラ、質問者ニ御迷惑ヲ掛ケテハイケマセヌカラ、私ノ時間ニ申上ゲルコトニ致シマスガ、今ノアナタノ御答辯ハ、法人ノ寄附ヲ支出ト認メルナラバ、個人ノ寄附モ支出ト認メナケレバナラナイ、同時ニ一時所得ノ場合ニ於テモ一時所得者ガ、必ズシモ不動産及ビ有價證券ヲ以テ、賣上利益ヲ寄附スルト云フバカリデナク、月給取モ寄附スルノデス、月給取デ一錢ノ不動産ノナイ人デモ寄附スル、其ノ他百姓デモ、商賣人デモ悉ク寄附シテ行ツテ居ルノダカラ、法人ノ支出ヲ寄附金ト認メテヤレバ、個人ノ支出ニモ、必要經費ニモ其ノ寄附金ヲ私ハ認メテヤルノガ當然デアルト思フ

○大矢政府委員 簡單ニ御答致シマス、法人ニ於テ處分損ハ損ニ認メテ居リマス、法人ハ他ノモノカラ贈與ヲ受ケル場合ニ、ヤハリソレハ益金ニ見ラレル、他ノ贈與ハ損ニ見テ居リマス、個人ハ貰ツタノ別ニ所得計算上所得ト見テ居リマセヌ、隨テ他ニ贈與シタモノハ別ニ經費ニ見テ居リマセヌ、理論ハ洵ニ一貫シテ居リマス

○森田委員 ヲカシイデハナイカ、理論ガ一貫セヌ、所得ト見テ居ラス、法人ニ於テハ

寄附ヲ支出ト見ル、個人ニハ見ナイト云フノデスガ、ソレデハ一貫シテ居ラナイデハナイデスカ

○堀切委員長 一貫シテ居ルト云フノハ、アナタノ議論ガ一貫シテ居ルト聽キマシタガ、サウデハアリマセヌカ(笑聲)

○大矢政府委員 法人ノ方ハ入ツテ來ルモノハ皆益金ニ見ル、出テ行クモノハ損金ニ見ル、寄附金モ出テ行クモノダカラ損ニ見ル、個人ノモノハ入ツテ來ルモノモ全部益金ニハ見マセヌ、隨テ出テ行クモノハ全部經費ニ見ル譯ニハ參リマセヌ、出テ行クモノノ中經費ニ計算セラレルノハ、所得ヲ得ルニ必要ナモノダケヲ經費ニ見ルノデゴザイマス、隨ヒマシテ同ジ寄附金ト致シマシテモ、極ク正確ニ言ヒマス、商業ヲ營ンデ居ル者ガ、何カ其ノ商業ヲ營ンデ行ク場合ニ必要ナ限度ノ寄附金ノヤウナモノハ、今日ト雖モソレハ經費ニ見テ居リマスガ、一般的ノ寄附金、其ノ人ノ個人的地位、社會的地位ニ應ズル、或ハ又資産ノ高ニ應ジテ一般的ニ寄附スルヤウナモノハ經費ニ見テ居リマセヌ

○佐竹委員 要スルニ此ノ寄附金其ノ他所謂隱レタル戸數割ノ弊害ハ何處ニアルカト申上ゲマスナラバ、何等ノ據ルベキ基準ト云フモノガナイト思ヒマス、ドレダケ何人カラ取ツテ宜イノカ、其ノ程度ガ分ラヌ、或ハ感情情實ニ依ツテ左右セラレルコト等ガ非常ニ吾々ヲシテ不安ナラシムル原因デアリマシテ、若シ之ヲ明ニ稅ナラバ稅ニ對シテ戴キマシタナラバ、斯ウシタ議場デ堂上ト論ズルコトガ出來ル、負擔ノ均衡ヲ圖ルコト、經濟諸政策トノ調和ヲ圖ルコト等、各之ヲ考慮ニ入レマシテ無理ノナイ所ノ結論ヲ見出スコトガ出來マスガ、併シ隱レタ

ル戸數割デハサウハ參リマセヌ、只今申上ゲマスルヤウニ、警察官ガ「サーベル」ヲ吊ツテヤツテ參リマシテ、一寸脛ニ疵ヲ持ツ連中ノ前ニ參リマスト云フト、モウソレハ百圓デモ二百圓デモ無條件デ、ハイ確ニ承知致シマシタト云フノハ決ツテ居リマス、弱味ニ附ケ込シタリ、或ハ情實ニ依ツタリ致シマシテ、負擔ノ均衡ヲ害シテ、經濟諸政策トノ調和ヲ索ツテ、私共ガ一生懸命ヤツテ居ル所ノ稅ノ體系ト云フモノヲ、隱レタル租稅ニ依ツテ破壞スルヤウナ結果ニナリハシナイカ、斯ウ云フコトヲ私共ハ惧ルルノデアリマス、ソレナラバコソ只今私ガ讀上ゲマシタ昭和十年十月ノ岡田内閣ノ地方財政ノ改善ニ關スル内閣審議會ノ中間報告ニ於テ、明ニ法令上、法令外アリマス、法令上ト云フ文字ハ穩當デハアリマス、法令外デアリマセウ、「各種ノ團體ノ費用負擔並ニ各種ノ寄附金ノ分擔ハ事實上租稅ノ負擔ニ準ズベキ狀況ニ在ルヲ以テ」ト言ハレテ居リマス、是ハ租稅ノ性質ヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨テ有ユル角度カラ之ヲ論ジマシテモ、公平ニ、公正ニ、サウシテ有ユル經濟諸政策トノ調和ヲ圖ル所ノ施設ヲ完備シテ置カナケレバナラスノデアリマス、隨ヒマシテ今回ノ戸數割ナラハ數割ヲ廢止致シマスニ付テハ、之ニ代ル所ノ隱レタル戸數割ガ出來ルノデハナイカトトフコトニ心配ヲ置キマシテ、而モ此ノ問題ハ今日始ツタ問題デハナイ、既ニ昭和十年岡田内閣ノ時ニ斯ウヤツテ審議會ガ立派ニ中間報告ニナツテ居リマス、ソレガ重大ナ問題ト致シマスレバ、政府ニ於カレマシテモ今回ノ提案ヲナサレルニ付テハ、斯ウ云ツタ隱レタル戸數割ニ付テハ相當ノ考慮

ヲ拂フベキガ私ハ蓋シ當然デアルト思ヒマス、然ルニ其ノ一般ノ問題ハ別ト致シマシテ、御手許ノ警察費運搬費支辨金ニ付テサヘ、マア御任セテ願ヒタイ、イヤマア適當ニヤツテ行クカラ……デハ、是ハドウモ安心ガ出來マセヌ、併シ餘リ諄々ト論議ヲ重ネマシテモ仕方ガアリマセヌカラ、此ノ程度デ此ノ點ハ打切ツテ置キマスガ、兎モ角十分ニ御考慮ヲ願ヒマシテ、若シ將來寄附金其ノ他ノ租稅ニ代ル所ノ、隱レタル戸數割ヲ御認メニナルナラバ、ドウ云フ基準ニ依ツテ取ルカ、ドウ云フ賦率ニ依ツテ取ルカ、租稅同様ニ寄附金ニ關スル所ノ勅令デモ一ツ出シテ……恐ラク是ハ勅令デハ出來マス、結局此處ニ法律案トシテ出テ來ナケレバナラス、立法事項デナケレバナラスダラウト考ヘマスルガ、要スルニ國民審議ノ結果ニナル所ノ公平ナル處置ニ依ツテ、此ノ戸數割ヲ適當ニ處理スルヤウニスル所ノ必要ガアルノデハナイカト考ヘマス、地方局長ハ御偉イニハ相違ナイケレドモ、津々浦々ニ於ケル所ノサウ云ツタ總テノ人

人ニ、總テ御任セテ下サイ、大丈夫デスト云ツテモソレ程安心ハナリマセヌ、只今ノ地方局長ガ假ニ御送リニナツテモ尙ホ安心ノナルヤウナ、法制化シタモノニ之ヲ願ツテ置キマセヌケレバ、國民ハ安心スルコトガ出來ナイ、此ノ事ニ依ツテ稅制ノ根本ヲ破壞スルコトニナリハシナイカト憂ヘマスガ爲ニ申上ゲル所ノ私共ノ言葉デアリマス、今一應將來ニ於テ是ハ一ツ適當ニ法律案デモ考ヘヨウ、或ハ勅令等デモ出サウト云ツタヤウナ熱意ガアラレマスナラバ、此ノ際承リタイト思フ、ソレガ若シ出來ナイトスルナラバ、將來之ニ對シテドウ云フヤウニ善處シ

ル拂フベキガ私ハ蓋シ當然デアルト思ヒマス、然ルニ其ノ一般ノ問題ハ別ト致シマシテ、御手許ノ警察費運搬費支辨金ニ付テサヘ、マア御任セテ願ヒタイ、イヤマア適當ニヤツテ行クカラ……デハ、是ハドウモ安心ガ出來マセヌ、併シ餘リ諄々ト論議ヲ重ネマシテモ仕方ガアリマセヌカラ、此ノ程度デ此ノ點ハ打切ツテ置キマスガ、兎モ角十分ニ御考慮ヲ願ヒマシテ、若シ將來寄附金其ノ他ノ租稅ニ代ル所ノ、隱レタル戸數割ヲ御認メニナルナラバ、ドウ云フ基準ニ依ツテ取ルカ、ドウ云フ賦率ニ依ツテ取ルカ、租稅同様ニ寄附金ニ關スル所ノ勅令デモ一ツ出シテ……恐ラク是ハ勅令デハ出來マス、結局此處ニ法律案トシテ出テ來ナケレバナラス、立法事項デナケレバナラスダラウト考ヘマスルガ、要スルニ國民審議ノ結果ニナル所ノ公平ナル處置ニ依ツテ、此ノ戸數割ヲ適當ニ處理スルヤウニスル所ノ必要ガアルノデハナイカト考ヘマス、地方局長ハ御偉イニハ相違ナイケレドモ、津々浦々ニ於ケル所ノサウ云ツタ總テノ人

人ニ、總テ御任セテ下サイ、大丈夫デスト云ツテモソレ程安心ハナリマセヌ、只今ノ地方局長ガ假ニ御送リニナツテモ尙ホ安心ノナルヤウナ、法制化シタモノニ之ヲ願ツテ置キマセヌケレバ、國民ハ安心スルコトガ出來ナイ、此ノ事ニ依ツテ稅制ノ根本ヲ破壞スルコトニナリハシナイカト憂ヘマスガ爲ニ申上ゲル所ノ私共ノ言葉デアリマス、今一應將來ニ於テ是ハ一ツ適當ニ法律案デモ考ヘヨウ、或ハ勅令等デモ出サウト云ツタヤウナ熱意ガアラレマスナラバ、此ノ際承リタイト思フ、ソレガ若シ出來ナイトスルナラバ、將來之ニ對シテドウ云フヤウニ善處シ

ル拂フベキガ私ハ蓋シ當然デアルト思ヒマス、然ルニ其ノ一般ノ問題ハ別ト致シマシテ、御手許ノ警察費運搬費支辨金ニ付テサヘ、マア御任セテ願ヒタイ、イヤマア適當ニヤツテ行クカラ……デハ、是ハドウモ安心ガ出來マセヌ、併シ餘リ諄々ト論議ヲ重ネマシテモ仕方ガアリマセヌカラ、此ノ程度デ此ノ點ハ打切ツテ置キマスガ、兎モ角十分ニ御考慮ヲ願ヒマシテ、若シ將來寄附金其ノ他ノ租稅ニ代ル所ノ、隱レタル戸數割ヲ御認メニナルナラバ、ドウ云フ基準ニ依ツテ取ルカ、ドウ云フ賦率ニ依ツテ取ルカ、租稅同様ニ寄附金ニ關スル所ノ勅令デモ一ツ出シテ……恐ラク是ハ勅令デハ出來マス、結局此處ニ法律案トシテ出テ來ナケレバナラス、立法事項デナケレバナラスダラウト考ヘマスルガ、要スルニ國民審議ノ結果ニナル所ノ公平ナル處置ニ依ツテ、此ノ戸數割ヲ適當ニ處理スルヤウニスル所ノ必要ガアルノデハナイカト考ヘマス、地方局長ハ御偉イニハ相違ナイケレドモ、津々浦々ニ於ケル所ノサウ云ツタ總テノ人

人ニ、總テ御任セテ下サイ、大丈夫デスト云ツテモソレ程安心ハナリマセヌ、只今ノ地方局長ガ假ニ御送リニナツテモ尙ホ安心ノナルヤウナ、法制化シタモノニ之ヲ願ツテ置キマセヌケレバ、國民ハ安心スルコトガ出來ナイ、此ノ事ニ依ツテ稅制ノ根本ヲ破壞スルコトニナリハシナイカト憂ヘマスガ爲ニ申上ゲル所ノ私共ノ言葉デアリマス、今一應將來ニ於テ是ハ一ツ適當ニ法律案デモ考ヘヨウ、或ハ勅令等デモ出サウト云ツタヤウナ熱意ガアラレマスナラバ、此ノ際承リタイト思フ、ソレガ若シ出來ナイトスルナラバ、將來之ニ對シテドウ云フヤウニ善處シ

ヨウトスルノカ、大凡見當ダケデモ、「アウ
トライン」ダケデモ御示ヲ願フテ置ケバ私
共安心デアルト思ヒマス

○挾間政府委員 度々御答致シマシタガ、
此ノ機會ニモウ少シハツキリト申上ゲテ置
キタイト思ヒマス、寄附強要等ノ問題ガ府
縣費ヲ以テ支辨スベキ施設、又市町村費ヲ
以テ支辨スベキ施設等ニ往々アリマスコト
ハ、是ハ宜クナイコトデアルト思ヒマス、
吾々トシテハ極力是ハ避ケル方針デアリ
マス、今回ノ稅制ノ改正ヲ企テマシタノハ
色々ナ原因モゴザイマスガ、今御述ニナリ
マシタ問題ニ關スル限リニ於テ此ノ稅制ノ
コトヲ考ヘマス、從來ノ稅制ハ市町村費
ヲ以テ支辨スベキ施設ニ對シテ十分ナ財源
ヲ與ヘテ居ナイノデアリマス、隨テ已ムナ
ク地方費ヲ以テ支辨スベキモノニ、相當ノ
寄附ト云フヤウナ形ヲ採ラザルヲ得ナイコ
トニ押詰ツテ參ツテ來タコトヲ思フノデア
リマシテ、今回ノ稅制改正ノ結果ハ、少ク
トモ公費ヲ以テ支辨スベキ施設ニ對スル經
費ハ、十分之ニ依ツテ賄ヒ得ル如ク構成ラセ
ラレテ居ルノデアリマス、稅制改正ノ結
果、一面ニ於テハ貧弱ナル團體ニ對シテ十
分ナル財源ヲ與ヘマスシ、又各團體押ナベ
テ各種ノ目的ノ稅、受益者負擔金等ノ制度
モゴザイマスカラ、無理ノナイ經費ノ調達
方法ヲ、法ノ許サレタ形ニ於テ爲スコトガ
出來ルト思ヒマス、併シナガラ尙ホソレデ
モ公費ヲ以テ支辨スベキ施設ニ付テ色々左
様ナ事實ガゴザイマスレバ、或ハ起債ノ許
可ノ際ニ其ノ點ヲ見マスレバ、十分其ノ經
理狀況ニ付テモ再考ヲ求メルコトガ出來ル
ト思ヒマスシ、地方稅ノ一定課率以上ノ賦
課ニ付テ、書類ヲ調ベマシタ際ニサウ云フ

コトヲ發見シマスレバ、地方ニ對シテ其ノ
點モ注意シ、再考ヲ求メルヤウナ方針ヲ採
ル考デアリマス、尙ホ只今豫算ヲ御審議ヲ
願フテ居リマスガ、今回ノ稅制改正ヲ機會
ト致シマシテ、地方ノ行政及ビ財政ニ付テ
ハ、政府トシマシテ十分ナル監査ヲ致シタ
イト思フノデアリマス、是ガ爲ニ相當ノ經
費ヲ計上致シマシテ、常ニ府縣市町村ノ財
政行政ノ監査ヲ頻繁ニ致シマシテ、只今御
述ニナリマシタヤウナ問題ガゴザイマスレ
バ、十分ニソレヲ注意ヲ致シマシテ、弊害ノ
ナイヤウニスル爲ニ、只今豫算トシテ地方
監査機構ノ充實ニ對スル經費ヲ御審議ヲ願
フテ居ルヤウナ譯デアリマス、尙ホ一般ノ
寄附ノ問題ニ付キマシテ御述ニナリマシタ
點ノ取締法ヲ制定スルト云フコトハ、是ハ
色々ノ手段ヲ盡シマシテ、尙ホ不十分デア
ル場合ニハ、其ノ方法モ考慮致サナケレバ
ナラスカト思ヒマスガ、此ノ點ニ付キマシ
テハ暫ク只今申述ベマシタヤウナ方針ヲ以
テ十分ナル手段ヲ盡シテ見マシタ上ニ、更
ニ考究ヲ致シタイト思ツテ居リマス

○堀切委員長 ソレデハ時間モ來マシタカ
ラ、佐竹君ニ尙ホ殘餘ノ點ハ次會ニ御願ス
ルコトニ致シマシテ、今日ハ貴族院モ衆議
院モ兩方豫算總會ヲ開イテ居リマス、午後
ハ家屋稅外數件ノ稅關係ノ問題ガ本議場ニ
上程サレマスノデ、午後ノ此ノ委員會ハ休
マナケレバナラスト思ヒマス、隨テ明日又
午前十時ヨリ次會ヲ開クコトニ致シマス、
左様御諒承ヲ願ヒマス、是ニテ散會致シマ
ス

午後零時十六分散會

昭和十五年二月二十九日印刷

昭和十五年三月一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局